

政 策 6

～安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようになります～

後期基本計画における「めざそう値」等一覧

【めざしたい将来像】

地域ぐるみで子育てを支援し様々なサービスが選択できるようにすることによって、子育てしやすく、子どもの笑顔があふれる街まつどを実現します。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
子育ての満足度	—	90.0%	91.0%	—	90%	90%
	89.8%	90.5%	90.6%	91.6%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

平成13年度より、比較的高い数値を維持しており、平成21年度実績値と同じ数値をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
就労希望はあるが保育サービスが利用できないため就労していない人の割合	—	—	—	—	6%	5%
	—	—	6.7% (h21)	7.1%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

後期次世代育成支援行動計画において、通常保育事業(認可保育所)の利用の伸び率を平成22年から26年において2.0%と試算している。通常保育事業(認可保育所)の利用のシェア増加傾向も指標値向上の要因となりうるものとする。一方で、就労環境改善やその他子育て支援サービス等、他の要因を試算に含め数値の設定根拠とし、5%をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
合計特殊出生率	—	—	1.29% (20年)	—	1.31%	1.33%
	1.28% (13年)	1.20% (19年)	—	1.33% (22年)		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

政策調整課「松戸市人口統計」(平成21年1月)に基づいて設定し、1.33人をめざす。

政策6

安心して子どもを生み、 健やかに育てることができるようにします

1.安心して出産できるようにします

1. 現況と課題

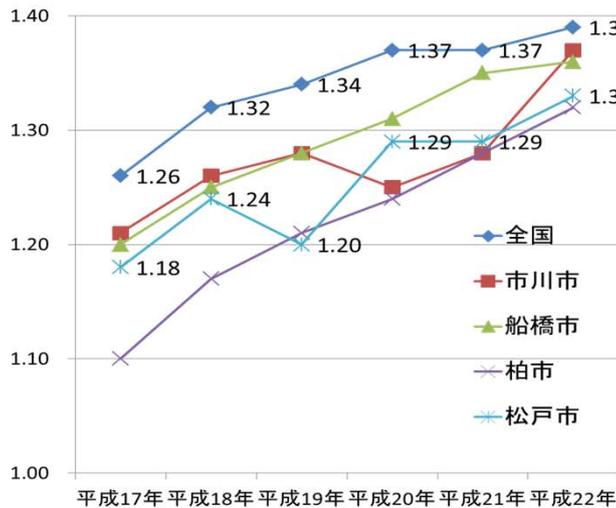
本市の合計特殊出生率は1.33(平成22年)と全国平均である1.39を下回っており、出生数の減少も続いています。それに加えて、本市の場合は、社会移動においても、10歳未満の人口流出が大きく、少子化が急速に進展しています。また、乳児と接する機会を持たないまま妊娠、出産・育児にのぞむ人が多いなか、価値観が多様化し、様々な情報が氾濫する現在、育児不安や虐待が社会問題になっています。平成20年3月の「健康松戸21」中間評価のための市民アンケートの結果でも、妊娠がわかったときの気持ちとしては、全体としても「うれしい気持ち」より「不安や心配」がやや強い傾向にあり、特に20代では、不安や心配を示す傾向があります。

本市では、小児医療センターの整備やさまざまな相談及び支援事業に取り組んでいますが、今後も出産や子育てに対する不安や心配を減らし、より多くの市民が安心して出産・育児ができると実感できるような施策を充実していく必要があります。

【特筆すべきニーズの変化】

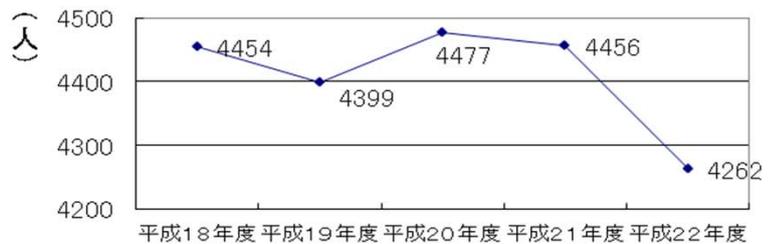
- ・妊娠・出産について精神的・肉体的な不安をケアすることが望まれています(ニーズの増)

●合計特殊出生率の全国・近隣市比較



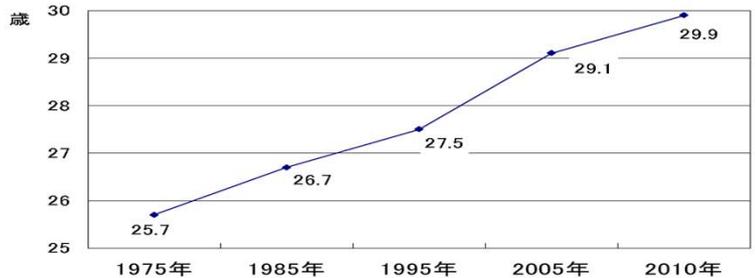
出典:厚生労働省統計書、千葉県統計書より

●市内出生数の推移



出典:松戸市統計書から抜粋

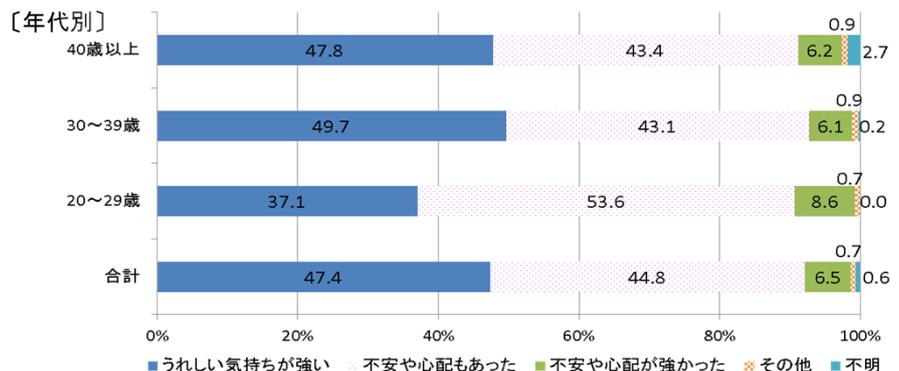
●第1子出生時の母の平均年齢の推移



出典:厚生労働省「人口動態調査」から抜粋



●妊娠が分かったときの気持ち



出典:健康松戸21「計画策定のための市民アンケート」をもとに作成

2. 施策の展開方向

妊娠・出産・育児について、学習する場の提供と育児等についての相談相手を持てるような支援体制の整備を進めていきます。

生まれたときから全ての子どもが健やかに成長できるよう、年齢や性別、ハンディキャップの状況、それぞれの家庭に置かれた状況など、一人ひとりの子どもに必要な支援を行っていきます。

3. 施策を推進していく上での課題

妊娠から出産期にかけて実施されている各種サービスや制度を市民にわかりやすく伝えることや、個別支援の必要な方を把握し、フォローしていくことが必要です。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ・母子健康手帳の配布に必ず保健師が携わり、母子の健康相談をおこなっています（強み）

●市が行なう健康教育、健康相談の実施内容

- ・ママパパ学級
- ・市民健康相談室
- ・家庭訪問
- ・わんぱく歯科くらぶ
- ・育児教室
- ・離乳食教室
- ・子育て支援センター相談事業

●ファミリーサポートセンター

まっどファミリー・サポート・センターは、地域の中で育児の援助を行いたい人（提供会員）と育児の援助を受けたい人（利用会員）が会員となり、育児についての助け合いを行う会員組織です。提供会員は「育児支援」と「出産直後の支援」の2つの活動を行います。

○育児支援

保育施設の保育開始時間前や、終了時間後のお子さんの預かりや送迎

学校の放課後や放課後児童クラブ終了後のお子さんの預かり

保護者の病気や急用時の預かり

冠婚葬祭や学校行事の際の預かり など

○出産直後の支援

- ①家事に関すること
(食事の準備や後片付け、生活必需品の買い物、掃除、洗濯等です。)
- ②新生児及び乳幼児の育児に関すること
(授乳、沐浴、おむつ交換等です。)
- ③母親の身体介助に関すること

●ママパパ学級のご案内

平成24年度

ママパパ学級のご案内 (二人で出産・子育てを)

松戸市では、初めてお母さん・お父さんになる方が、安心して出産にのぞみ、育児のイメージがもてるようにママパパ学級を行っています。育児をする上で地域の友達づくりの機会にもなります。ぜひ、お二人でご参加下さい（お一人でも参加できます）。

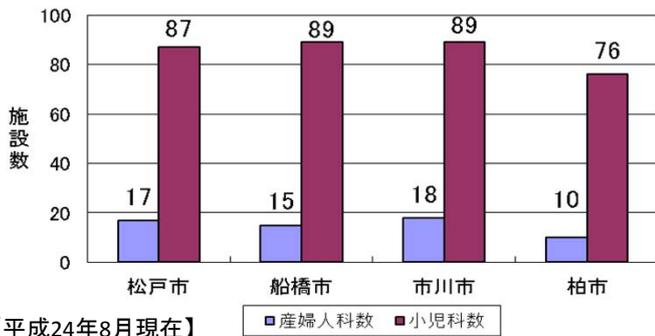


- ◇ 時間 受付 午後 1:15~1:30
実施 午後 1:30~4:10
保健福祉センター（裏面）
- ◇ 会場 お住まいがお近くの方向土の交流を大切にしています。なるべくお近くの保健福祉センターにご参加下さい。
- ◇ 申し込み 参加希望日の一週間前までに各保健福祉センターへ電話申込み（連絡先は裏面）
- ◇ 対象 初めてお母さんになる妊娠16~32週の方・初めてお父さんになる方
(※パートナー等の同伴があれば36週まで参加可能です)
- ◇ 持ち物 母子健康手帳・筆記用具・テキスト（初めて参加した日に配布）
- ◇ 内容 3日間で1コースです。（2日目・3日目は保健師が担当）

1日目	妊娠中の食生活・食事の工夫（栄養士） 参加の目安 16週~32週 ⇒持ち物（お父さんも歯ブラシ・手鏡・コップ） 妊婦体操（理学療法士）⇒ズボン（はきかえても可）	プレママ友達をつくらう！ ぜひ、パパも参加してね！
2日目	参加者同士の交流 参加の目安 24週~32週 お産の経過と過ごし方 赤ちゃんを迎える生活 赤ちゃんの栄養	
3日目	パパも妊婦に変身・妊婦体験 参加の目安 24週~32週 ビデオ“赤ちゃんからのメッセージ” 育児体験実習（お風呂の入れ方、替替え、おむつの替え方） 参加者同士の交流	

●市民健康相談室

★比較データ(産婦人科、小児科の近隣市比較)



出典：千葉県医療情報提供システム「ちば医療ナビ」

名称	場所	日時
本庁市民健康相談室	市役所本館1階	月~金曜日 8時30分~正午と、13時~17時 (本庁のみ午前8:30~17:00)
常盤平市民健康相談室	常盤平支所内	
小金市民健康相談室	小金保健福祉センター内	
小金原市民健康相談室	小金原支所内	
六実市民健康相談室	六実市民センター別館1階	
馬橋市民健康相談室	馬橋支所内	
新松戸市民健康相談室	新松戸支所内	
矢切市民健康相談室	矢切支所内	
東部市民健康相談室	東部支所内	

出典：保健福祉課資料

<h1>政策6</h1>	<h2>安心して子どもを生み、 健やかに育てることができるようにします</h2>
	<h3>2.健やかに子どもを育てるようにします</h3>

1. 現況と課題

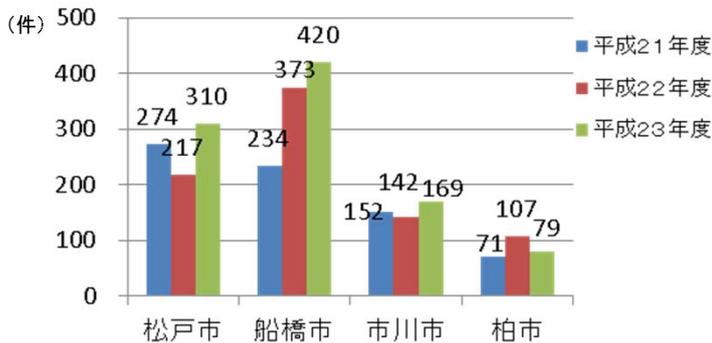
市民意識調査の結果からは、「出産や子育てに不安や心配がない人の割合」は、平成13年度89.8%、平成24年度91.6%とほとんど変わっていません。また、平成21年3月の松戸市次世代育成支援に関する調査報告書によると、親が子どもを育てている気持ちとして「自分も成長している」「子どもがいると毎日楽しい」など子育てを肯定的に捉える回答の割合が非常に高くなっており、地域の中で子育て中の親が交流したり相談ができる場も増えていることによるものと思われます。一方、「子どもが犯罪に巻き込まれる」ことを不安に思う保護者が多くなっていることや、また、市内の児童虐待件数の増加や母子・父子家庭世帯の増加などもあり、子育て中の親が必要とする支援は多様化しています。

今後も、子どもの健全な成長が阻害されることなく、家庭・家族の中で健やかに子どもを育てていくことができるように、多様なニーズにあった子育て支援策を充実させていくことが重要になっています。

【特筆すべきニーズの変化】

- ・育児中の保護者の負担や不安を軽減し、支援を必要とする家庭への多様な支援が求められています（ニーズの増）

●児童虐待件数の近隣市比較



出典：千葉県児童家庭課資料をもとに作成

●全国の母子世帯数の状況



出典：総務省「国勢調査」より作成

●SOSカード

まつどし子どもSOSコール

こまったり、つらいことがあったら
でんわしてください
いっしょにかんがえます

☎047-366-3941

(月～金曜日・朝8時30分から夕方5時まで)

メールでもそうじできます mejidosoudan@city.matsudo.chiba.jp

※携帯の設定により、返信できない場合があります。

・かそくのことではなやんでいる。
・いじめや友達のことではなやんでいる。
・虐待されている気がする。
・友達がなやんでいるので力になりたい。

まつどしやけしよ かにいじどうそつだんしつ
松戸市役所 家庭児童相談室

ゆうがた 5 時からと、土、日、祝日は
「子ども家庭110番」にでんわしてください。
☎043-252-1152

●経済的支援(一例を掲載しています)

☆子ども医療費助成事業の近隣市比較		(H24.12.1現在)							
市区町村名	対象年齢					所得制限			備考
	通院		入院			あり	一部あり	なし	
	小学校3年生	小学校6年生	中学校3年生	小学校6年生	中学校3年生				
松戸市		○			○			○	
船橋市		○			○			○	
市川市			○		○		○		小1以上は所得制限あり
柏市	○				○			○	

出典：千葉県児童家庭課資料をもとに作成

2. 施策の展開方向

子どもにとって安らげる家庭、家族であるために、家庭・家族の状況に応じた多様な支援により、子どもが育つことや子どもを生き育てるという営みを社会全体で応援していきます。そして、全ての子どもが自分らしい夢をもてるようにします。

子育ての不安を軽減し、楽しめるようにするため、親同士が交流したり、乳幼児が自由に遊ぶ場の充実や子育ての相談が気軽にできるチャンネルを増やしていきます。また、子育て支援にあたっては、地域の人子どもたちの活動を通じて連携していくことを支援し、子育て中の親子の支援だけでなく、子どもから広がる地域づくりを推進します。

3. 施策を推進していく上での課題

子育てに充実感が持てるようになるための支援体制や、虐待を未然に防ぐための取り組みを進める必要がある。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ・一時預かりの充実（保育所での一時預かりに加え、E-こどもの森 ほっとるーむ及び晴香園において理由を問わない一時預かりを実施しています→強み）

● 一時預かり事業

保育所の一時預かり
(子育て支援交付金・一時預かり事業保育所型)
公立1ヶ所、私立10ヶ所で実施

こどもショートステイ
(子育て支援交付金・子育て短期支援事業)
児童養護施設で実施
短期入所生活援助(宿泊)・夜間養護・休日養護を実施

病後児保育事業
市内2ヶ所で実施

E-こどもの森ほっとるーむ東松戸
H23一時預かり利用者数 1,764名

E-こどもの森ほっとるーむ新松戸
H23一時預かり利用者数 1,091名

ファミリー・サポート・センター事業
(子育て支援交付金助成)

- ・平成9年10月開始
- ・千葉県内で最初に実施
- ・松戸市社会福祉協議会に委託
- ・H23実績

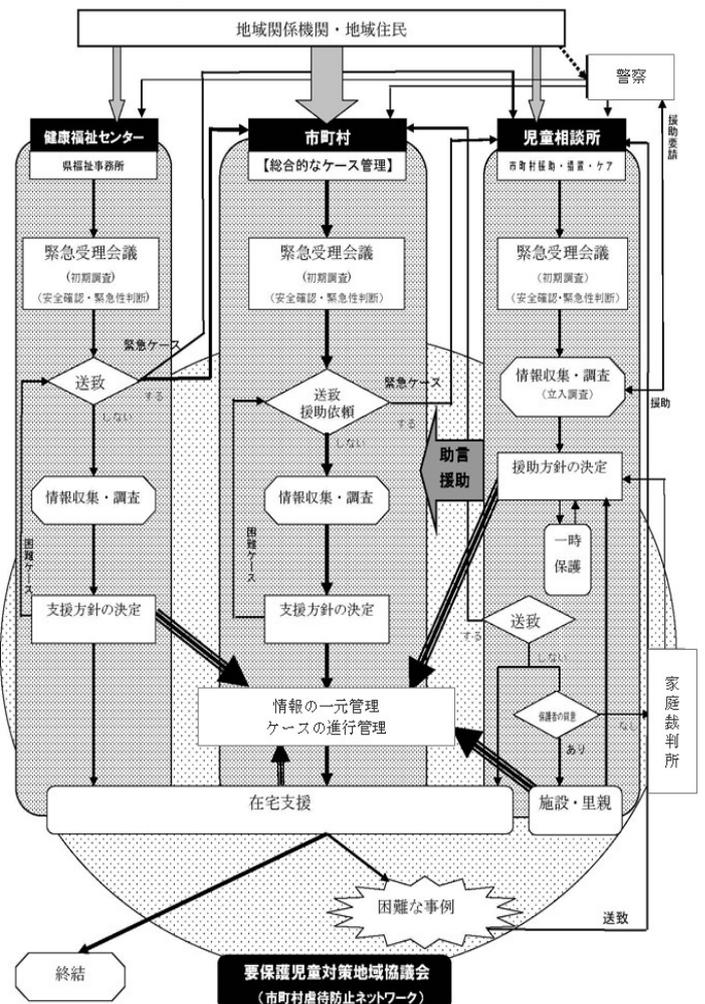
提供会員266名
利用会員620名
両方会員18名

おやこDE広場・ほっとるーむ 子育て支援センターの利用者状況

	子育て支援センター ほっとるーむ 広場数	延利用者数
平成21年度	15	107,643
平成22年度	18	146,623
平成23年度	19	175,488

出典：子育て支援課資料をもとに作成

●松戸市子どもと女性に対する暴力防止対策地域協議会(要保護児童対策地域協議会)体系図



政策6

安心して子どもを生み、
健やかに育てることができるようにします

3.家庭と仕事を両立できるようにします

1. 現況と課題

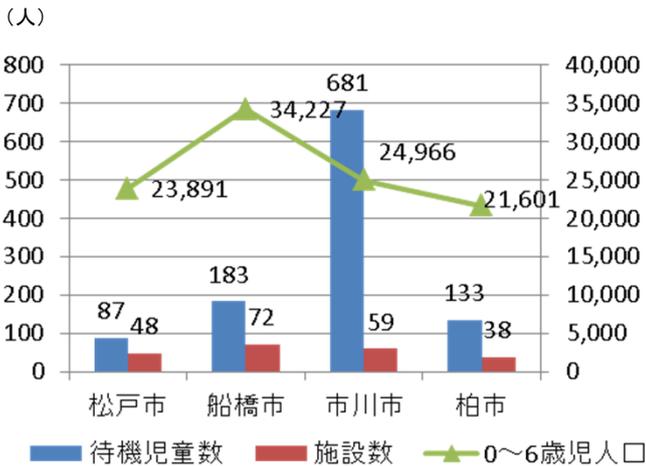
経済状況の変化や女性の社会参画意識の変化などにより、子どもが小さいうちから就労することを考える女性が増加しています。松戸市次世代育成支援に関する調査報告書（平成21年3月）によると、未就学児の母親の34.3%、小学生の母親の55.7%が就労しています。また未就労の母親の約8割が「子育てに余裕ができたなら働きたい」と考えており、小・中・高校生の約6割の保護者が共働きとなっています。

こうしたことから、子育て中の保護者が働き続けることや働き始めることを応援するための相談体制や保育サービスの充実が必要とされています。

【特筆すべきニーズの変化】

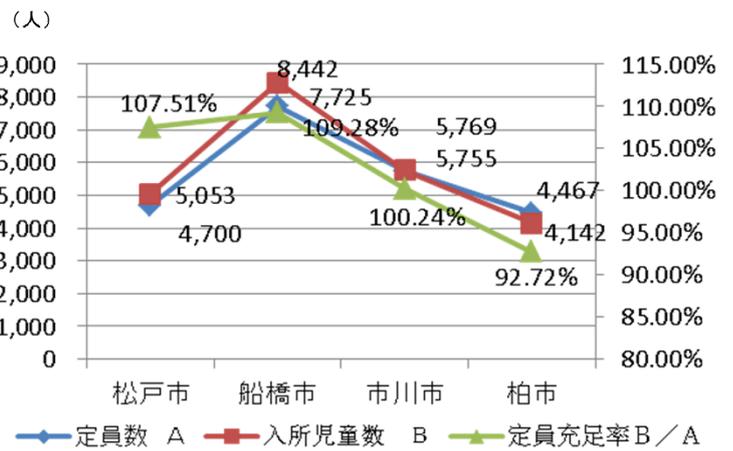
- ・親が子どものために家庭と仕事の両立ができる環境を整えることが望まれています（ニーズの増）

●保育所待機児童の近隣市比較



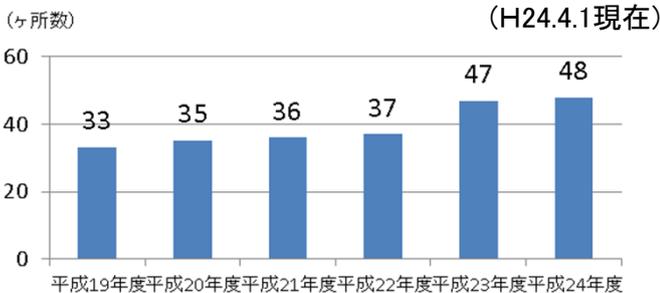
出典：各市ホームページ資料をもとに作成

●保育所定員数と定員充足率の近隣市比較



出典：各市ホームページ資料をもとに作成

●保育所(園)延長保育サービスの拡大状況



出典：保育課資料をもとに作成

●放課後児童クラブの近隣市比較

	小学校児童数	学校数	クラブ数	利用児童数
松戸市	24,727	44	44	2,487
船橋市	32,322	54	54	3,923
市川市	22,988	39	43	3,099
柏市	21,465	42	38	2,024

出典：子育て支援課資料をもとに作成

2. 施策の展開方向

経済的な理由や意識の変化によって、子どもが小さいうちから就労を希望する女性が増えていることから、保育所や放課後児童クラブの利用がしやすくなるような環境整備を進めていきます。また、様々な子どもの状態に合わせた保育サービスができるようにしていきます。

なお、保護者の家庭と仕事の両立にあたっては、なによりも、子どもの成長を中心におくような相談体制や保育サービスの仕組みづくりを進めていきます。

3. 施策を推進していく上での課題

多様なニーズに対応できる民間保育所等の誘致すること、民間保育所のより良く運営するための保育士を確保すること、親が子どものために家庭と仕事の両立ができる環境を整えることなどが課題です。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

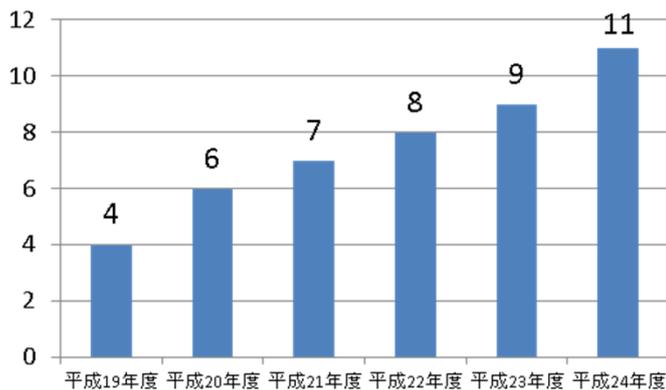
- ① 保育所待機児童数が近隣市に比べ少ない（保護者の就労が保障される→強み）
- ② 延長保育サービスが充実している（保護者の就労が保障される→強み）

● 保育所の一時預かり事業の拡大状況

【概要】

毎日保育所を利用するほどではないが、子どもを家庭でみるのが困難になった場合に保育所を利用できる制度です。

- ・平成24年9月1日現在：実施保育所数11所

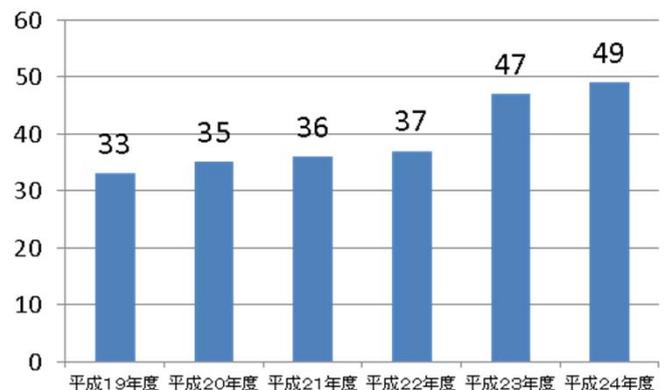


出典：保育課資料をもとに作成

● 保育所の延長保育サービスの拡大状況

【平成24年9月1日現在実施状況】

- ・12時間保育 45所
- ・13時間保育 4所



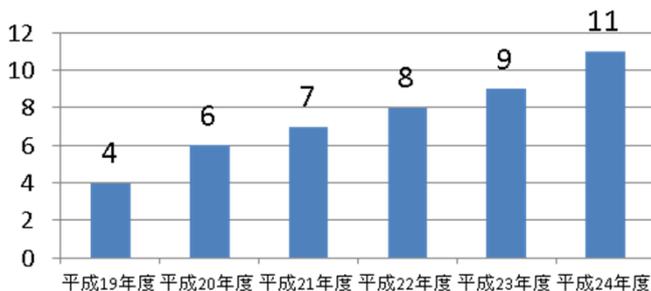
出典：保育課資料をもとに作成

● 保育所の特定保育事業の拡大状況

【概要】

就労形態の多様化に伴い、子どもを家庭でみるのが困難になった場合に週2日または3日保育所が利用できる制度です。

- ・平成24年9月1日現在：実施保育所数11所



出典：保育課資料をもとに作成

● 放課後児童クラブ

市内の全小学校(44学区)にて実施。
対象は原則小学校3年生まで。
民設民営の柔軟な運営により待機児童はゼロ。

● 放課後KIDSルーム

市内の小学校7ヶ所の図書室を活用し実施。
実施している小学校の全学年が対象。

		H22	H23	H24
放課後児童クラブ児童数		2,348	2,361	2,487
放課後KIDSルーム	児童数	72	141	233
	小学校数	3	4	7

出典：子育て支援課資料をもとに作成